



日本一海に近いと言われた小学校とあって、そのロケーションの良さは抜群。荒平天神に海から参拝するシーカヤックツアーもおすすめです。



川島 康文さん
株式会社Katasudde
代表取締役

鹿屋市出身。神奈川県からUターン後、地元で設計事務所を起業。「ユクサおおすみ海の学校」の企画・設計・運営を手掛ける。

DATA▶

ユクサおおすみ海の学校
鹿屋市天神町3629-1
tel.0994-31-8193
@yukusa_ohsumi



2013年に廃校となった鹿屋市の旧菅原小学校を活用し2017年にオープン。「おおすみの人と自然が共生」をコンセプトに、大隅地域の魅力を生かした遊びを体験でき、SUPなどのマリンスポーツ、照葉樹林でのトレッキング、高隈山の沢登りなど、大隅の海と山をフィールドにした幅広いアクティビティを用意。また、地元食材を満喫できるバーベキューやレトロな雰囲気を残した教室での宿泊のほか、校庭でのキャンプも人気です。

かつて地域のシンボルであった小学校が、魅力的なコンテンツが集う場所へと生まれ変わりました。たくさんの方が訪れる交流拠点になることで、地域に元気や可能性を与え、訪れる人も元気をもらえと思っています。今後は、開放的な空間とアウトドア、さまざまなコンテンツを生かした「日本一楽しい廃校」を目指していきたいです。そして、「学び」を軸に多様な交流が行われ、元気な地域になってくれればうれしいです。



この体験もオススメ サイクリング

学校周辺はサイクリングにも最適。錦江湾と桜島、開聞岳を眺めながら走ることができます。サイクルショップでは、レンタサイクルも行っています。



海と山を感じる、みんなの交流拠点
ユクサおおすみ海の学校



巻頭特集

Into the nature!

廃校リノベ施設で自然と遊ぼう

廃校が今、生まれ変わる

かつて、子どもたちの声が響いていた学校。少子化の影響で統廃合が進み、全国では年間約450校もの学校が廃校となっています。

廃校施設は、その地域や地方自治体にとって貴重な財産でもあることから、その有効活用が求められています。

そのような中、近年は、廃校施設の広大な敷地や教室の間仕切りなどを生かして、社会教育施設や福祉施設、体験交流施設として利用するなど、地域の実情やニーズに応じた廃校活用が進んでいます。

鹿児島県でも、廃校をリノベーションした自然体験施設が増えてきており、少しずつ地域がにぎわいを取り戻しています。今回は、鹿児島ならではの美しい海や森などの自然をフィールドにした、魅力あふれる体験ができる4つの施設をご紹介します。この夏、家族や友人と出かけてみてはいかがでしょうか。

